

アグリビジネス体験実施計画書（様式第1号）の作成に当たって

第1 はじめに

アグリビジネス体験実施計画書（様式第1号）の作成に当たっては、「令和6年度千葉市アグリビジネス体験事業の実施について」の記載内容及び以下の点に留意して作成してください。

第2 計画書作成に当たっての留意事項

1 参加者数

受入可能な人数を記載してください。

※記載いただいた人数を定員として参加者の募集を行います。

2 受入法人名（農園名）／農業者名

法人の場合は法人名を法人でない場合は代表者の氏名を記載してください。

3 実施期間

アグリビジネス体験を実施する期間を記載してください。

※作物の生育状況や天候等により実施日を変更する可能性がある場合は、「〇〇月上旬」といった大まかな時期の記載のみでも構いません。

4 実施日数

アグリビジネス体験を実施する日数を記載してください。

<記載例>

① 実施期間が令和6年7月1日～令和6年7月5日の場合、

実施日数：5日間

② 実施期間が令和6年12月上旬～令和7年2月中旬の中で

10日間実施する場合、

実施日数：上記期間の内、10日間

5 実施場所

体験の内容を踏まえて、実施に適していると思われる場所を記載してください。

<記載例>

ほ場、直売イベント会場 等

6 アグリビジネス体験の概要

実施期間中に実施する「農業体験」と「交流体験」の概要についてそれぞれ記載してください。

※「農業体験」と「交流体験」について

「令和6年度千葉市アグリビジネス体験事業の実施について」より抜粋

第4 アグリビジネス体験の内容

1 農業体験

- (1) 受入農業者が栽培しているものを利用した農業体験
- (2) 栽培品目の選定、品質、集出荷、流通、サービス等の生業としての農業についての受入農業者からの説明 等

2 交流体験

- (1) アグリビジネス体験に参加する若年層（以下「参加者」という。）と受入農業者の交流

- 例
- ・受入農業者の就農に至るきっかけや、なぜ千葉市で就農したか等の説明
 - ・参加者が考える受入農業者の農産物の魅力や、消費者目線の意見交換 等

3 その他、当事業の目的達成に資すると考えられる体験

- 例
- ・受入農業者が抱える課題についての意見交換やそれに対する参加者からの課題解決提案
 - ・千葉市農業の生産や流通現場等の視察
 - ・千葉市農業振興関係イベントへの参加 等

7 アグリビジネス体験の具体的内容

アグリビジネス体験の具体的な内容を記載してください。

8 参加者に期待すること

受入農業者として、参加者に農業体験や交流体験を提供するに当たり、事業に参加することで参加者にどのようなことを理解して欲しいか、どのような農業の知識・経験を得ることを期待しているか記載してください。

第3 その他の留意事項

アグリビジネス体験の実施に当たっては、適切な受入体制を整えてください。

例 受入体制：2人

責任者：1人、指導者：1人（※）

（※責任者と同一でも可とします。）